
沖縄が問う日本の民主主義 の課題と処方箋

立憲フォーラム・戦争をさせない 1000 人委員会 共催

安倍政治を終らせよう 3.23院内集会

3月23日（木）午後5時～参院議員会館 講堂

講師：前泊博盛（沖縄国際大学大学院教授）

いま、安倍政権は辺野古に基地をつくるため、法治国家を疑わざるをえないほどの無理無体を沖縄に押しつけています。沖縄防衛局が3月末に期限切れとなる岩礁破碎許可の更新を申請しないと県に通知したことに對し、3月17日の『琉球新報』は「辺野古新基地建設のためなら関係省庁が手を組んで法律をねじ曲げる。断じて認められない」と怒りを露にした社説を書いています。

昨年12月、オスプレイが墜落しましたが「不時着」と言い換え、高江のヘリパッド建設では全国から500人もの機動隊を連れて行って住民と対峙させて「土人」「シナ人」と差別発言を行い、反対運動のリーダーの山城博治さんを逮捕して不当に拘留を続け、3月18日に釈放するまで5ヶ月も長期拘留をしました。弾圧、差別、嘘など、安倍政権のこうした沖縄圧殺と切捨て政策にどう立ち向かうか、沖縄から前泊博盛さんに来ていただき「沖縄が問う日本の民主主義の課題と処方箋」についてお話していただきます。

前泊博盛（まえどまり・ひろもり）◇1960年宮古島生まれ、明治大学大学院修了。「琉球新報」論説委員長を経て2011年から現職。基地が及ぼす地域経済への影響等がテーマ。『もっと知りたい！ 本当の沖縄』（岩波書店）、『本当は憲法より大切な「日米地位協定入門」』（創元社）など。

※立憲フォーラムからのメール情報をご希望の方は、rikken96@gmail.com までメール下さい。

【新刊】立憲フォーラムブックレットのご案内

『沖縄はつきつける』（仲村未央沖縄県議×高野孟さんの対談）ができました。1部100円です。

**◆森友疑惑徹底糾明！安倍政権は退陣せよ！3.23国会議員
会館前行動**

午後6時30分～ 衆院第二議員会館前 総がかり行動主催